



平成30年度

ひと ひと
女と男の

いきいきフォーラム

記録集



目 次

◇ はじめに	1
◇ ^{ひと} 女と ^{ひと} 男のいきいきフォーラム 開催概要	2
◇ 当日の様子	3
◇ 落合 恵子さんの講演について	4
◇ 【同時開催】パープルリボン展	9
◇ チラシ「 ^{ひと} 女と ^{ひと} 男のいきいきフォーラム」	11
◇ チラシ「パープルリボン作品募集」	12
◇ ^{ひと} 女と ^{ひと} 男のいきいきフォーラム アンケート	13
◇ 男女意識チェック アンケート	18
◇ 実行委員の思い	22
◇ 実行委員会 年間の流れ	26
◇ 男女共同参画に係るキーワード	27
◇ ^{ひと} 女と ^{ひと} 男のいきいきフォーラム実行委員紹介	29



はじめに

国連の世界人権宣言^{*1}の採択より70年。同宣言の前文及び1条では「人類社会のすべての構成員の固有の尊厳及び権利を認めること」と「すべての人間は自由な存在で尊厳と権利は平等」と述べています。2018年の特筆される事項として、性暴力と戦っている2人^{*2}にノーベル平和賞が授与されたことです。授賞理由は戦争犯罪に起因する性暴力の被害者の救済と告発です。また、「#MeToo」運動とも共通するものとしています。一方国内の状況は、女性の就業率では1953年以降で初めて70%^{*3}に達し女性の社会参画が進んでいるものの、男女別の非正規社員比率は男性21.6%：女性55.9%^{*4}と大きな格差があります。また、「多様性」や「セクハラ行為」の否定発言や、数々のパワハラ事件等のように前近代性が残っているのも現実です。

「^{ひと}女と^{ひと}男のいきいきフォーラム」は第2次向日市男女共同参画プランに基づき、人権尊重、男女共同参画社会の実現を目指し、市民公募により集まった実行委員と市の協働により企画・運営しています。

男女共同参画は「個人の尊厳」と「両性の本質的平等」が保証され、誰もが性別に関わりなく個性と能力を発揮し、明るく伸びやかに生きられる社会を目指します。私たち「^{ひと}女と^{ひと}男のいきいきフォーラム」実行委員は、一日も早い男女平等社会の実現を心から願っています。

「^{ひと}女と^{ひと}男のいきいきフォーラム」実行委員会

^{*1}世界人権宣言…1948年12月10日の第3回国連総会で採択

^{*2}2氏…デニ・ムクウェゲ氏（コンゴ民主共和国）、ナディア・ムラド氏（イラク共和国）

^{*3}就業率・^{*4}非正規雇用率…総務省「労働力調査」より



平成30年度 ^{ひと}女と^{ひと}男のいきいきフォーラム 開催概要

- 1 日時 平成30年12月9日（日）午後1時～2時45分
- 2 場所 イオンモール京都桂川店内3階イオンホール
- 3 内容 講演 ^{ひと}女男の生き方を考える～みんなが自分色に輝けるように～
講師 落合恵子さん

同時開催 パープルリボン展、人権パネル展

- 4 参加者 242名

アンケート回収数175枚（回収率72.3%）

（アンケートの詳細は、15～17ページをご覧ください）



当日の様子

たくさんのお客様で会場は超満員でした。



司会も実行委員が担当します

パープルリボン（女性に対する暴力をなくすためのシンボル）作品もたくさん展示しました。



受付・司会だけでなく、準備、会場整理、写真撮影、講師の接待、記録集編集、総括といきいきフォーラム実行委員は、見えないところからもフォーラムを支えています。



落合 恵子さんの講演について

演台 ^{ひと} 女男の生き方を考える～みんなが自分色に輝けるように～

講師 落合 恵子さん（作家・クレヨンハウス主宰）



落合さんは、来場者の方への気づかい溢れる語りかけをされ、暖かで優しい語り口調で自身の経験や見聞きしたことを織り交ぜながら、人権の大切や差別は許されないということを話されました。

それぞれ違う環境に生きている私たちが、優劣なく「ひとりの人間」として生きて「生ききるべき」と力強いメッセージを送られました。

落合さんからのメッセージを一部、ご紹介します。



私たち一人ひとりの人間が人種とかセクシュアリティ（あえて性別ということばを使わない）や、身体の状態や、心の状況など、その他諸々によって優劣をつけられない社会であり、その人その人がその人自身を生きて、生ききるべき・生きることが出来る社会に向けて、私たちの意識がどう変わっていったらいいか、自分にまずどう問いかけていったらいいかを中心にしばらくの間お話しします。

私たちが解き放たれた方がよい4本の鎖のひとつ。差別の鎖です。

人種差別→レイシズム。エイジズム→年齢差別、セクシズム→性、もう一つが健常者中心主義。

そういった鎖から解き放たればもっと私たちが“自分になれる・自分色に輝く”ことが出来ます。

10代の若者たちが本日のような催しについて、「あーいう会って格好いい。」と思ってきたとき、私たちの夢は実現に向かいます。

本日のようなテーマで会を開催すると、どうしてもある年代以上になりやすいです。これが若い人が、「格好いい。」と言ったときすべてが変わるという夢もあります。

（参加者の年代を確認された後で）でも本日は、色々な年代の参加者がいらっしやいます。健やかな社会は「色々います」ということから始まります。

人種も、年代も、身体的状況も、精神的状況も、諸々いて色々な同じ高さで存在する。どっちが上、どっちが下ということではないんです。

男女共同参画社会は、跳ね上がった女たちが「権利を寄せ」と言っているわけではありません。

権利を求める運動は大事です。これからもやめてはいけないものですが、そういうことではなく、個々人が自分であることに誇りを持って、他の人との違いを大事にしながらお互いの違いから学び合い、「でも自分色に輝いて行こうね」ということを目指しているものです。

（著書「泣き方をわすれていた」の主人公である、ふゆこさんのエピソードを話しながら）人生は1冊の本である。そう記した詩人がいました。

もし、そうであるなら、今日まで私はどんな人生という本を描いてきたのだろうと考えます。

確かな事はひとつ。若いと呼ばれる年齢にいた頃、気が遠くなるほどの長編と
思えた人生という本は、実際には驚くほど簡単だったということです。

人は誰でも平凡な、けれど一つとして同じものはない本を1冊残して、そして
死んでいきます。

書店にも図書館にも誰かの書棚にも古書店にも置かれることはない、1冊の
本。

誰かがその人を思い出す時だけ、ページが開く「幻の本」。

その人を思い出す人が、この世から立ち去った時、1冊の本も直ちに消えるの
かと、この気持ちがあったからこの本をまとめようかと思いました。そして、長
編小説だと思っていた人生がこんなに短編だったの？という驚愕も今私の中
にあります。

あと何ページになるかわからない、あと何ページ残されているかわからない
からこそ、やっぱりおかしいことは、おかしいと言って、人権が侵害されていた
ら「その足どけなさい」と言って、それがどんな結果になるかわからない。

一人ひとりの力なんてほんの、ほんの小さなもの、非力で微力なもので、それ
でも言わない人生よりは「おかしいことはおかしい」って言っていく人生を送り
たいと思う私の感覚でもあると言えるのでしょうか。

先ほど申し上げました、あと何ページ残っているかわかりません。あと20ペ
ージあると思ったら明日事故で死んじゃったって場合もありますしね。人間っ
てわからないです、生きてるということは、死ぬことなんです、確実に。

であるならばに戻ります。おかしいことにはおかしいって言っていきましょ
うよ。

私にとって、人が人と共に生きていく。それも差別のない社会を生きていくと
いうのは、研究のテーマではありません。

私が私を生きることです。と言いながら私も数年前まで大学の教師でした。

そしてそこで学んだことも大事な事だけど、実践しなかったら意味ないでし
ょう。

実践する時は何が大事だろうと考えます。

それは、その社会において最も声の小さい側に置かれている人と手をつない
で生きていくことだと思います。

最後には歌を聴いてください。2011年3月11日から2か月経った時に岩
手県のひとりの保育園の園長先生から「この歌今、岩手の一部で応援歌になっ
てますよ」っていただいたのが、私がプロデューサーとして関わった“空より高く”
という曲でした。

震災で、気になったのは避難所にいる、お年寄り達の表情が消えていく事でした。泣かなかっただら、喜びも何でも出さなかつたら、表情が消えていきますよね。

保育園の園長先生がこの曲を、ラジオで流してもらって、流れた瞬間に避難所から「泣き声が聞こえてきて、表情が戻ってきました。」ってお聞きしました。

子ども達に高い志というなら、私達大人自身がほんのわずかで良いから今より高い志持ちたいねっていう思いで制作した曲です。

ちょっと人権を考える時、人と人が同じ高さに立つということを考える時、そして、疲れた時も含めてです。

こういった曲があるよと、味わっていただけたら嬉しく思います。「空より高く」です。

空より高くを聴きながら終了。



落合さんは、在宅で介護をし、お母さまを見送られて10年経った区切りの小説から引用し、エピソードや文章をご紹介されました。

その中で「人生は一冊の本である。」という言葉を紹介され、私たちにはあと何ページ残されているのか分からないからこそ、「おかしいことは、おかしい」と言っていく人生を送りたいと力強くお話しされました。

自然災害が多い日本においては防災が重要であること、そしてそのためには、もっと避難所や備蓄が保証されるよう声をあげていきたいと思いますと語られました。災害時の食事や避難所の環境にも、ジェンダーの視点から考える必要性があることについても触れられました。

講演の最後には曲に合わせて詩を朗読され、会場内は暖かく感動的な雰囲気となり、涙しながら聴いておられる方もいらっしゃいました。会場内が一体となり感動的な講演会となり、参加された多くの方から落合さんの言葉に深い感銘を受けたという感想をいただきました。

【講演の感想】

参加者のアンケートからも、学びや気づきが多く、それぞれにより良い未来のためにできることを考える機会となったことが伺えました。記入された感想の中から、抜粋してご紹介します。
(講演会に関する意見、感想欄への記載内容を原文のまま掲載しています。)

性別	年齢	感想
女性	20代	一人ひとり、“人間”。同じ“ひと”だというメッセージ。本当にそうだと思います。立場や役職よりも、もっと根本的なところ、私たちは同じ人間であるということ。そこを意識していると、大きく間違えることなく行けるのではないか…?と感じました。
女性	30代	とても良かったです。今日から、人への想いを自分自身に問いかけなければいけないと思いました。
女性	40代	長年に渡り研究・活動されてきた落合さんのお話は、学ぶこと、知ることが多かったです。講演慣れされているので、お決まりの定型文のような講演ではなく、とても良かったです。
女性	40代	最後の歌、なぜか涙がこみ上げてきました。落合さんのお話を聞くまでは、落合さんを強い人だと思っていましたが、落合さんも人なんだ、弱い人から始まっているんだと思い、さらに好きになりました。
女性	40代	落合さんの言葉一つ一つが重く心にのしかかってきました。人権・男女共同参画についてももっと知ることが差別を無くしていくことだと思ったので、これからもずっと学び続けて、伝えていきたいです。
女性	50代	落合さん、本当にステキ、あこがれます(かっよくて)。自分があなたのように生きていないからでしょう。いっぱい考えさせられました。自分の中にもいっぱい無意識の中の差別意識があることにこの頃よく気づかされます。どうしたらしなやかに、すてきに生きていけるか考えていきます。ありがとうございました。
男性	50代	YES、NOを言える自分であります。
女性	60代	落合さんのお母様の生き方の勇気と苦勞、その上での落合さんへの影響力。言いたいことが言える世の中の大事さ。今の日本の政治の問題等、ジャーナリストとしての視点で話をされ、何度も頂きました。
女性	60代	ものの見方、多様性。今の社会に怒りが多い中、やはりおかしいことはおかしいといっていかなければ…。一人の声は小さくても、集まれば社会を変えていけると信じて。
女性	60代	勇気をいただいた。最近の政治情勢(現政治家のやり方)に無力感に陥っている私に、おかしい事はおかしいと言っていく、権利と責任を考えさせられた。後の世代に対する責任であると思知らされた。
女性	60代	生きることは死ぬこと。これからは私は私の人生を生きる。自分の人生を生きます。あと何頁あるか分かりませんが…。沢山、沢山のメッセージを受け取りました。20代の娘とこの時間を共有できて良かったです。
女性	60代	歌は娘の中学校の卒業式にみんなで歌いました。子どもや親は卒業していく思いに感動させられました。歌によって思い出しました。私の子や孫に恥ずかしくない生き方をしていこうと思っています。
女性	60代	小気味いい語り。何度も「そうだ! そうだ!」と共感する私でした。落合さんのお話をお聞きして優しくなりました。そして怒りに対しては声を出します。おかしいと思った事はおかしいと言います!
女性	60代	様々な差別がある事に気づける感性を磨いてゆきたい。おかしいことにおかしいとしっかり発言する強さをみんなで持って行動したい。
男性	60代	とても素晴らしい話で感動しました。落合さんの第2の人生のスタートとなったようなお母さんの言葉、あのような言葉を私は子どもや人々に語ってきただろうか?自分自身の人生をこめた話を聴けて良かったです。
男性	60代	落合さんの優しさと反骨精神がよく分かりました。これからも講演や作家活動をがんばってください。ご活躍を応援しています。文化放送「セイヤング」のリスナーでした。(当時は神奈川在住でした)
男性	60代	見方が変わった。落合さん懐かしく拝見しました。非常に良かったです。
女性	70代	テーマも良かった。久しぶりに本物に会えた。胸の中がすっきりしました。ありがとうございました。
女性	70代	自分のこれまでの人生を、そしてこれからの生き方をあらためて考える事になった。
女性	70代	大ファンで本はずっと読んでいました。自分らしく生きることのすばらしい体験をご自身の声で聞くことができ、とても良かった。彼女の憲法改悪反対・原発反対に対する活動に対して敬意を表して、私も考えながら行動していきたいと思う。
女性	70代	「年齢に差別をつけないで」現在働いていますが、生涯現役を目指す者として力が湧きました。セクハラ(レイプ等)は、加害者として男性に関わることが多い。聴講者の中に男性の割合が少ないのが残念です。
女性	70代	時代を先取りした、ゆるぎのない信念の講師の話が、どれだけの人に伝わったのかなあ…。人寄せパンダで終わって欲しくないと思っています。
女性	70代	落合さんはとてもステキです。年よりも若く見えて。お話しはもっと元気になれるお話しかと思いました。シルバーグレー、よく似合っています。
女性	70代	「おかしいことをおかしいと言い続ける」そうです。子や孫たちにこんな世の中を残してはいけません。同感・同感です!!
男性	70代	彼女の言う通り。全くその通りです。日本国民皆しっかり生きていきたいものです。
男性	70代	人権について、もう少し勉強とアクションが必要なことに気が付きました。
男性	70代	「人権」の問題が重要視です。身障者に対して理解・啓発を進めたいと存じます。
女性	80代	生き方を身近に考える機会となり、とても有意義だったと思います。
男性	90代	人権という言葉は重いと思います。



パールリボン展

ボランティアサークル「ひまわり」さんの作品



テディベアミニチュア着物



絵てがみ



つまみ細工 花



素直な気持ち



心の花

青い鳥、クローバー、パープルリボン



「嵐が丘」



絵手紙 NO DV!



4回目となる今回のパープルリボン展は9点の応募がありました。

向日市女性活躍センターや講演会開催時に展示し、多くの方が関心を寄せ、鑑賞されました。

平成30年度

ひと ひと

女と男のいきいきフォーラム

同時開催 パープルリボン展・人権パネル展

12月9日（日）

午後1時～午後2時40分（午後0時30分開場）

手話通訳・要約筆記あり 定員200人（入場無料）

講演会終了後 サイン会あり



会場 イオンモール京都桂川 3階イオンホール

※専用の駐車場はありません。施設内の駐車場をご利用の場合は、通常の料金がかかります。

ひと 女男の生き方を考える ～みんなが自分色に輝けるように～

優先入場券

11月13日（火）から配布
お1人様2枚まで
午後0時50分まで優先的に
入場いただけます。

配布場所

広聴協働課（市役所本館2階）
東向日別館（3階案内係）
女性活躍センター、図書館
各コミセン、地区公民館

一時保育

満1歳～就学前、定員8人
11月26日（月）までに
広聴協働課へ申込みください



講師 落合恵子さん

作家・クレヨンハウス主宰

問い合わせ・一時保育申込み 向日市ふるさと創生推進部広聴協働課

電話 (075)931-1111 F A X (075)922-6587 電子メール kyodo@city.muko.lg.jp

ひと ひと

主催 向日市、女と男のいきいきフォーラム実行委員会、山城人権ネットワーク推進協議会

協力 大垣書店イオンモール京都桂川店

©神ノ川智早





～暴力がなくなっしてほしいという想いをこめて～

パープルリボン展

作品集
募集

パープルリボンは、「女性に対する暴力をなくす運動」の国際的なシンボルマークです。
このパープルリボンを使った、女性に対する暴力がなくなっほしいという想いが込められた作品を募集し、「パープルリボン展」を開催します。

募集内容

パープルリボンをテーマにしたオリジナル作品～絵画、手芸、造形など～

- 1人で持ち運びができるサイズ・重さのもの ● 映像・食品不可
- 応募作品は、原則返却させていただきます。

- ◆ 展示日 11月17日(土)・18日(日)「向日市まつり」開催時
(向日町競輪場)
- 12月9日(日)「女と男のいきいきフォーラム」開催時
(イオンモール京都桂川3階 イオンホール)

上記の展示日のほかに女性活躍センターにて展示します。

- ◆ 募集期間 平成30年10月1日(月)～11月9日(金)

- ◆ 応募方法 作品と応募用紙を直接、女性活躍センターへ持参してください。
応募用紙は、市のホームページでもダウンロードできます。

- ◆ 注意事項 展示が困難と思われる場合、お断りすることがあります。また、作品が破損した場合、弁償はいたしかねます。

応募いただいた作品は、本市の男女共同参画事業に係る印刷物やホームページ等において掲載する場合があります。

作品には、

「暴力を許さない」

「あなたはひとりじゃないよ」

といった様々な想いが
込められています。



<写真提供>けいたま



<写真提供>
ボランティアサークル
「ひまわり」



<写真提供>

新日本婦人の会 6 向区うぐいす班

申込み・問い合わせ先

向日市女性活躍センター あすもあ

電話 075-963-6532 / FAX 075-963-6517

<応募用紙は裏面です>

ご回答いただいた方に、先着で粗品をプレゼントいたします！

平成30年度「^{ひと}女と^{ひと}男のいきいきフォーラム」アンケート

今後、本市の男女共同参画事業の参考にするため、アンケートにご協力をお願いします。
(※ 該当するものに○印または記入してください。複数回答可。)

差し支えなければお答えください。

- 性別 ()
- 年齢 (歳代)
- 住所 市内(物集女・寺戸・森本・鶏冠井・向日・上植野)・市外()

1 今回の「^{ひと}女と^{ひと}男のいきいきフォーラム」を何で知りましたか？

- ①広報むこう ②回覧板 ③公共施設でのポスター・チラシ
- ④新聞 ⑤知人から ⑥その他 ()

2 この催しに参加された動機は何ですか？

- ①講師または講演に興味があつて ②パープルリボン展示に興味があつて
- ③男女共同参画事業について関心があつて ④余暇の利用
- ⑤その他 ()

3 講演「^{ひと}女男の生き方を考える～みんなが自分色に輝けるように～」

講師 落合 恵子さん についてお聞かせください。

(1) 内容はいかがでしたか。

- ①よかった ②まあまあよかった ③どちらともいえない ④よくなかった

(2) 新しい発見はありましたか。

- ①あった ②まあまああった ③どちらともいえない ④あまりなかった

感想(講演のテーマや内容、講師等について)

裏面も記入をお願いします！

- 4 今回の「女と男のいきいきフォーラム（パープルリボン展や人権パネル展を含む全体）」
はいかがでしたか？
ご意見・ご感想がございましたらお聞かせください。

①よかった ②まあまあよかった ③どちらともいえない ④よくなかった

感想

()

- 5 今後、「女と男のいきいきフォーラム」についてどのような催しを期待しますか？
(具体的もしくは抽象的な内容・人名などでも結構です。)

①講演会 ()

②映画 ()

③その他 ()

- 6 これまでの5年間で、男女共同参画や人権に関する講演会・研修会に参加されたことがありますか？

①今日がはじめて ②1～2回 ③3～4回 ④5回以上

- 7 イベントに参加して、男女共同参画や人権についての関心や理解は深まりましたか？

①深まった ②どちらかといえば深まった ③変わらない ④わからない

- 8 今後もこのようなイベントに参加したいと思えますか？

①はい ②いいえ ③わからない

- 9 向日市は個人や男女の人権が尊重された豊かな社会になっていると思えますか？

①そう思う ②どちらかと言えばそう思う

③どちらかと言えばそう思わない ④そう思わない ⑤わからない

- 10 その他、お気づきの点がございましたら記入してください。

()

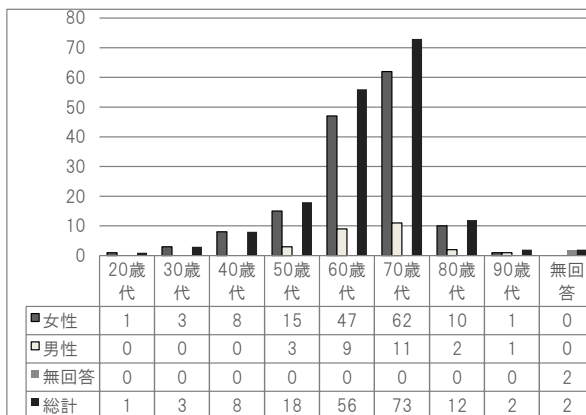
ご協力ありがとうございました。

女と男のいきいきフォーラム 当日アンケート集計結果

女と男のいきいきフォーラム参加者に対し、アンケートを行いました。
ご協力、ありがとうございました。

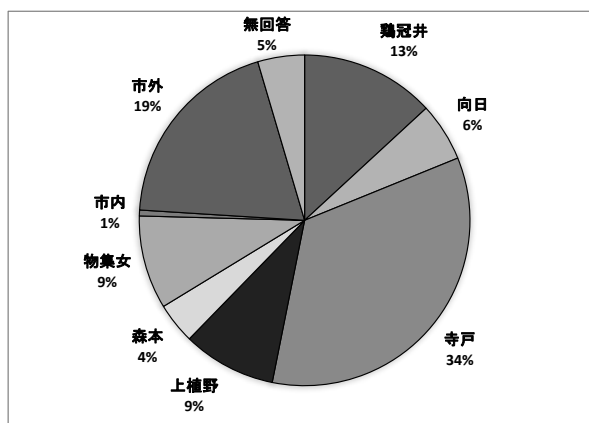
性別と年齢

	女性	男性	無回答	総計
20歳代	1	0	0	1
30歳代	3	0	0	3
40歳代	8	0	0	8
50歳代	15	3	0	18
60歳代	47	9	0	56
70歳代	62	11	0	73
80歳代	10	2	0	12
90歳代	1	1	0	2
無回答	0	0	2	2
総計	147	26	2	175



お住まい

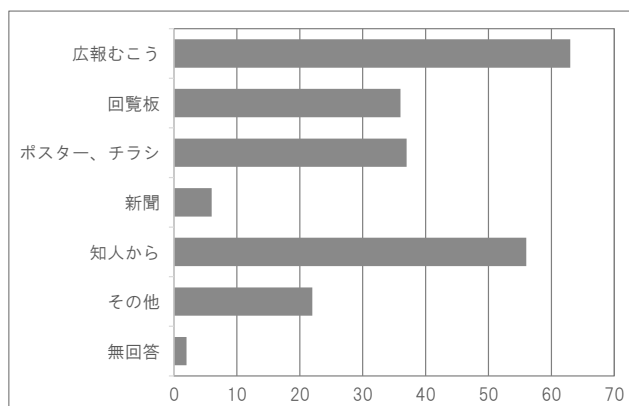
	女性	男性	無回答	総計
鶏冠井	19	4	0	23
向日	9	1	0	10
寺戸	51	9	0	60
上植野	11	5	0	16
森本	6	1	0	7
物業女	14	2	0	16
市内	1	0	0	1
市外	30	4	0	34
無回答	6	0	2	8
総計	147	26	2	175



1 今回の「女と男のいきいきフォーラム」を何で知りましたか？(複数回答可)

	女性	男性	無回答	総計
広報むこう	52	11	0	63
回覧板	28	8	0	36
ポスター、チラシ	30	6	1	37
新聞	2	4	0	6
知人から	56	0	0	56
その他	19	3	0	22
無回答	1	0	1	2
総計	188	32	2	222

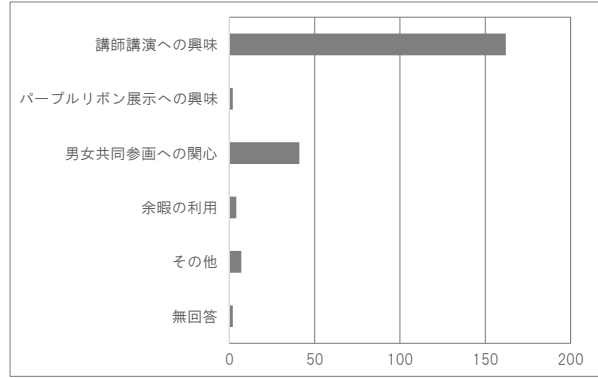
その他
 ・大垣書店 ほか2名
 ・所属団体より ほか2名
 ・実行委員より ほか1名
 ・民生委員への案内
 ・市のホームページ



2 この催しに参加された動機は何ですか？(複数回答可)

	女性	男性	無回答	総計
講師講演への興味	135	26	1	162
パープルリボン展示への興味	0	2	0	2
男女共同参画への関心	34	7	0	41
余暇の利用	3	1	0	4
その他	6	1	0	7
無回答	1	0	1	2
総計	179	37	2	218

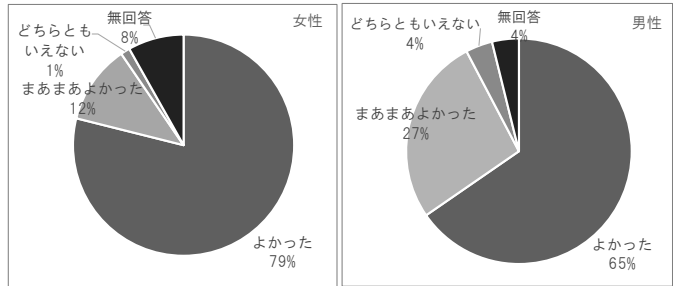
その他
 ・毎年参加することになっている ほか2名
 ・母に誘われて
 ・知人に誘われて
 ・予定が空いていた



3 講演会について

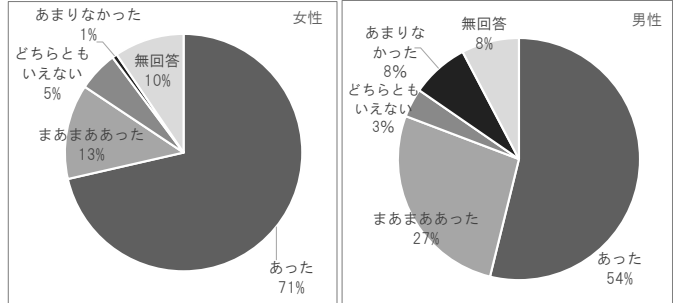
(1) 内容はいかがでしたか？

	女性	男性	無回答	総計
よかった	116	17	1	134
まあまあよかった	17	7	0	24
どちらともいえない	2	1	0	3
無回答	12	1	1	13
総計	147	26	2	175



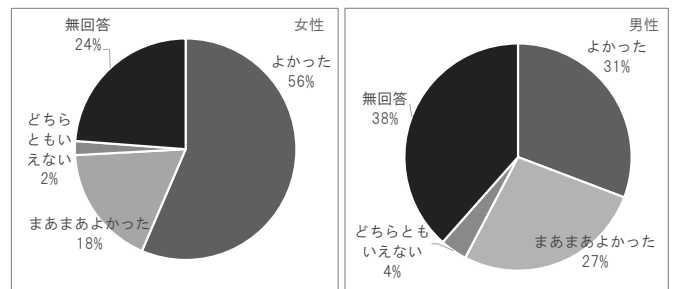
(2) 新しい発見はありましたか？

	女性	男性	無回答	総計
あった	105	14	1	120
まあまああった	19	7	0	26
どちらともいえない	8	1	0	9
あまりなかった	1	2	0	3
無回答	14	2	1	17
総計	147	26	2	175



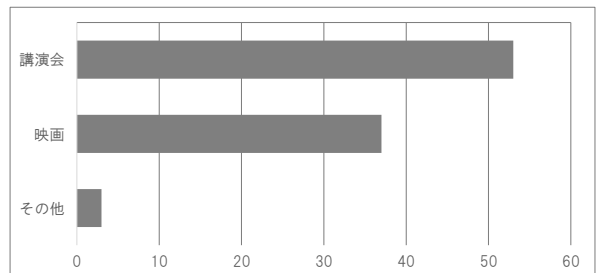
4 今回の「女と男のいきいきフォーラム」はいかがでしたか？

	女性	男性	無回答	総計
よかった	83	8	1	92
まあまあよかった	26	7	0	33
どちらともいえない	3	1	0	4
無回答	35	10	1	46
総計	147	26	2	175



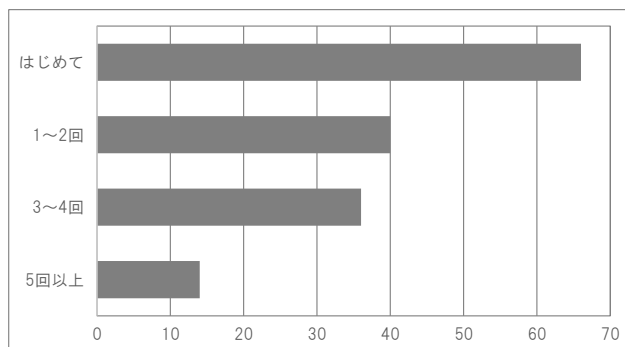
5 今後、「女と男のいきいきフォーラム」についてどのような催しを期待しますか？(複数回答可)

	女性	男性	無回答	総計
講演会	42	11	0	53
映画	32	5	0	37
その他	2	1	0	3
無回答	85	13	2	100
総計	161	30	2	193



6 これまでの5年間で、男女共同参画や人権に関する講演会・研修会に参加されたことがありますか？

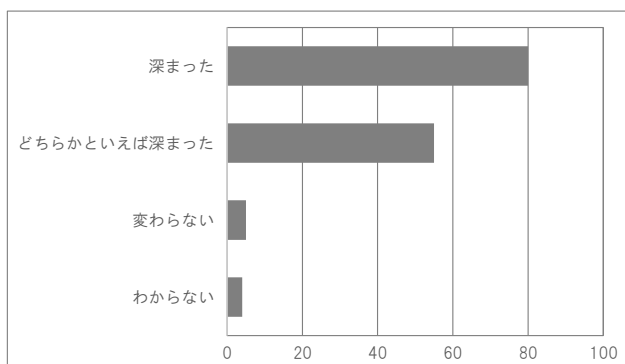
	女性	男性	無回答	総計
はじめて	56	9	1	66
1～2回	34	6	0	40
3～4回	32	4	0	36
5回以上	12	2	0	14
無回答	13	5	1	19
総計	147	26	2	175



7 イベントに参加して、男女共同参画や人権についての関心や理解は深まりましたか？

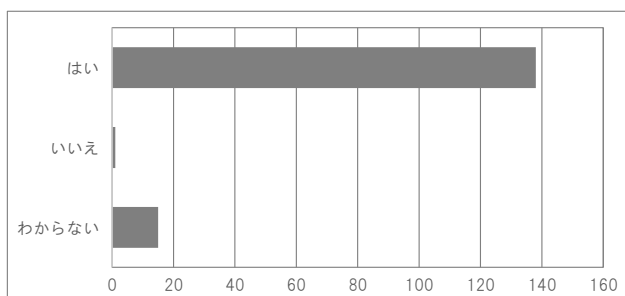
	女性	男性	無回答	総計
深まった	73	7	1	80
どちらかといえば深まった	45	10	0	55
変わらない	3	2	0	5
わからない	3	1	0	4
無回答	24	6	1	30
総計	148	26	2	176

※1名複数回答



8 今後もこのようなイベントに参加したいと思いますか？

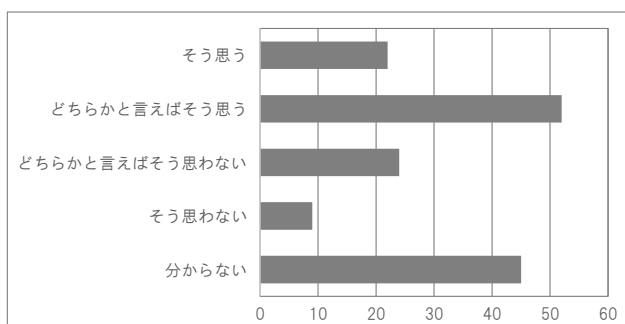
	女性	男性	無回答	総計
はい	117	20	1	138
いいえ	1	0	0	1
わからない	14	1	0	15
無回答	15	5	1	21
総計	147	26	2	175



9 向日市は個人や男女の人権が尊重された豊かな社会になっていると思いますか？

	女性	男性	無回答	総計
そう思う	19	3	0	22
どちらかと言えばそう思う	43	9	0	52
どちらかと言えばそう思わない	21	3	0	24
そう思わない	7	2	0	9
分からない	39	5	1	45
無回答	19	5	1	25
総計	148	27	2	177

※2名複数回答



男女意識チェックアンケート?



次の質問の「はい」「いいえ」の当てはまる方に○をつけてください。

「意識したことがない」「考えたことがない」場合は、「いいえ」に○をしてください。

あなたのこと（性別・年代）について、○で囲んでください。

性別：（ ）

年代： 10代 ・ 20代 ・ 30代 ・ 40代 ・ 50代 ・ 60代 ・ 70代 ・ 80代 ・ 90歳以上

①	責任ある立場には男性がついたほうが周りからの信頼を得られると思う。	はい	いいえ
②	恋人同士のデート代の支払いは、割り勘ではなく、男性が払うほうがよい。	はい	いいえ
③	バスやタクシーなどの運転者が女性だと不安を感じる。	はい	いいえ
④	家庭を持っている男性が、スーパーで買い物をしている姿を見ると気の毒に思ってしまう。	はい	いいえ
⑤	女性が外出するときは、食事や洗濯など家事をすませてからがよい。	はい	いいえ
⑥	自治会やPTA活動は、実際に参加するのが女性でも、代表は男性がよい。	はい	いいえ
⑦	地域の集まりで、男性がまとめ役をし、女性がお茶出しや後片付けなどをすることは特におかしいことではない。	はい	いいえ
⑧	育児休業や、介護休暇を男性がとることに違和感を覚える。	はい	いいえ
⑨	結婚後は、夫婦は夫の姓を名乗る方が自然である。	はい	いいえ
⑩	父親が子どもの友だちの名前がわからないのは仕方がない。	はい	いいえ
⑪	「主人」「奥さん」という言葉に抵抗を感じない。	はい	いいえ
⑫	セクハラ、セクハラと目くじらを立てる女性は大人気ない。	はい	いいえ
⑬	女性の上司の下で働くのは働きづらいと思う。	はい	いいえ
⑭	算数や理科は男子、国語や音楽は女子に向いている。	はい	いいえ
⑮	手紙の宛先・差出が夫婦連名の場合、夫は姓名、妻は名前だけでよい。	はい	いいえ

※⑮ はい いいえ いいえ いいえ

参考

向
目
花 太郎
子 郎

向
目
花 太郎
子 郎

向	向
目	目
花 太郎	花 太郎
子 郎	子 郎

向
目
太郎 花子
太郎 花子



「はい」に○をした数は
はいくつでしたか？

個

**A** 0～5個だったあなた

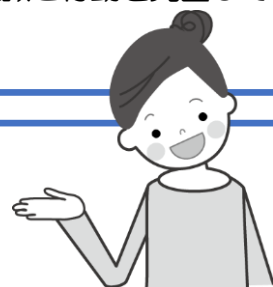
あなたは、「男らしさ」「女らしさ」にこだわらず、「自分らしさ」を尊重して生きていますね。あなたのジェンダーにとらわれない考え方を、周囲の人にも波及させて、快適な生活の場を広げていきましょう。21世紀はあなたの時代です。

B 6～10個だったあなた

あなたは「男だから」「女だから」にこだわるのはおかしいと気づき始めているようです。男女平等なんて常識と思いつつ、周囲の目を気にしすぎて、意識と行動の矛盾に悩んでいるかもしれません。性別に対するこだわりを思い切って取り除き、一番身近なところから意識と行動を見直していきましょう。

C 11～15個だったあなた

あなたは、男の役割、女の役割にこだわっていませんか？
どちらも同じように参加できる地域の方が、きっと暮らしやすいはずですよ。
ほんの少し、生活を見直してみましよう。



このアンケートは、平成30年11月17日
・18日の向日市まつりで、来場された皆さんに
答えていただきました。
ご協力ありがとうございました。

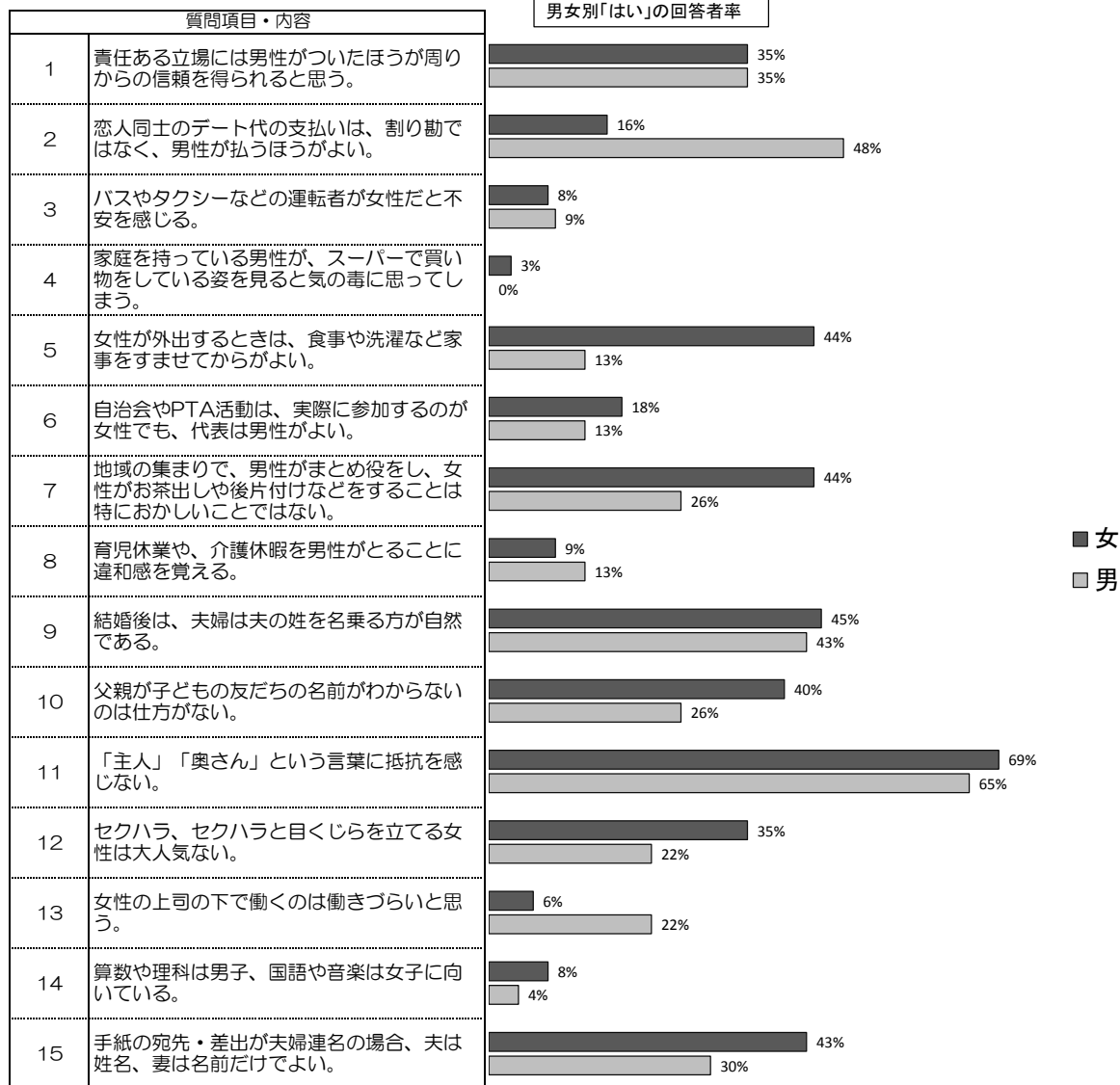
男女意識チェックアンケート まとめ

実施日：H30/11/17、18 実施：いきいきフォーラム実行委員会
 実施会場：向日市まつり2018（相談展示コーナー②）

回答者の年齢別・性別内訳人数

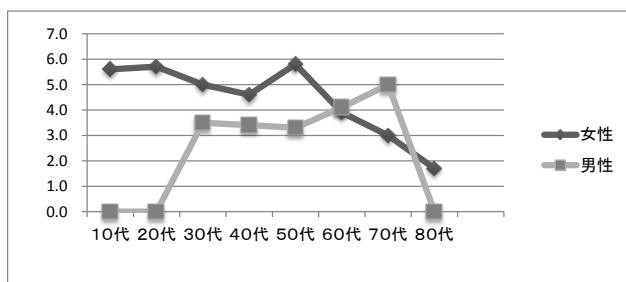
回答者	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	90代以上	無回答	計
女	11	3	7	7	9	15	22	3	0	0	77
男	0	0	2	5	6	6	3	0	0	1	23
無回答	3	0	0	0	1	3	10	2	0	2	21
計	14	3	9	12	16	24	35	5	0	3	121

(単位：人)



「はい」の数の年代別 平均値 ※15設問中、一人あたりが「はい」と答えた平均回数

	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代
女性	5.6	5.7	5.0	4.6	5.8	3.9	3.0	1.7
男性	0.0	0.0	3.5	3.4	3.3	4.1	5.0	0.0



男女意識チェックアンケート まとめ結果について

- 女性の場合、もっとも「はい」の割合が高かったのは、「⑪ 「主人」「奥さん」という言葉に抵抗を感じない」(69%)であり、そして「⑨ 結婚後は、夫婦は夫の姓を名乗る方が自然である」(45%)、続いて「⑤ 女性が外出するときは、食事や洗濯など家事をすませてからがよい」と「⑦ 地域の集まりで、男性がまとめ役をし、女性がお茶出しや後片付けをすることは特におかしいことではない」(どちらも44%)となった。
昨年度は、「はい」の割合が高かったものから順に⑪ (68%)、⑩ (50%)、⑤ (46%)という結果だった。
- 一方、男性がもっとも多く「はい」と答えたのは、「⑪ 「主人」「奥さん」という言葉に抵抗を感じない」(65%)であり、そして「② 恋人同士のデート代の支払いは、割り勘ではなく、男性が払うほうがよい」(48%)、続いて「⑨ 結婚後は、夫婦は夫の姓を名乗る方が自然である。」(43%)が多かった。
昨年度は、「はい」の割合が高かったものから順に⑪ (56%)、⑩・⑮ (どちらも49%)という結果だった。
- もっとも「はい」の割合が低かったのは、「④ 家庭を持っている男性が、スーパーで買い物をしている姿を見ると気の毒に思ってしまう」(女性3%、男性0%)で、そのあとに「⑭ 算数や理科は男子、国語や音楽は女子に向いている」(女性8%、男性4%)が続いた。
昨年度は「はい」の割合が低かったものから順に④ (女性3%、男性3%)、⑧ (女性11%、男性9%)・⑭ (女性14%、男性6%)という結果だった。
- 男性と女性の「はい」と答えた割合の差がもっとも大きかったのは、「②恋人同士のデート代の支払いは、割り勘ではなく、男性が払うほうがよい」であり、その次に多かったのは「⑤女性が外出するときは、食事や洗濯など家事をすませてからがよい」であった。②は男性が多く、⑤は女性の方が多かった。
昨年度は、男性と女性の「はい」と答えた割合の差が大きかったものから順に⑥、②という結果で⑥は女性が多く、②は男性の方が多かった。

一人あたりが「はい」と答えた平均回数は年代によって差がありましたが女性は50代がほかの年代より高く、男性は60代以降で「はい」と答えた平均回数が増加しました。60代を境に「はい」と答えた平均回数が男女で逆転し、年代・性別に拘らず今後も真の男女共同参画社会実現に向けて地道な啓発が必要であると感じました。

男女意識チェックアンケートを通して、いろいろな意見を聞くことができ、意識啓発の良い機会となりました。これからも、女と男のいきいきフォーラム実行委員会と向日市は、「男らしさ」「女らしさ」にこだわらず、一人一人が個人として尊重される社会をめざして活動を続けます。

～実行委員の思い～1年間を振り返って～

1年間を振り返って、実行委員会の活動を通じて一定の成果があったと評価しています。メインイベントであるフォーラム講演会は、講師の知名度が高いためか入場希望者が多く、超満員となったことはうれしいことでした。内容的には講師の体験に基づく新鮮な切り口で感動を呼びました。手話通訳や要約筆記のレベルが高く、内容の伝達が十分であったと思います。

9月には、日本女性会議 2018in 金沢に出席し、第9分科会－「性の多様性」を中心に参加しました。ここでは、「LGBT/SOGI－いま求められていること」について学び、男女共同参画と性の多様性の共通点について考えました。この日本女性会議は、出席するだけでなく、実行委員会で時間を設けて報告・検討し、活動に反映することこそが肝要です。

全体を通じて考えると、フォーラム講演会の進め方について、実行委員全員の参画が図られていることは素晴らしいことです。しかし、活動範囲がほぼそれだけに終わっていること、毎年同じことの繰り返しになっているのではないかと思います。性の多様化の問題やAI社会の到来など環境の変化に対応していかなければなりません。「無難に生きるよりは、挑戦的に生きる方が面白い」という言葉があります。私たちも日々研鑽を重ね、挑戦的に目標にチャレンジしていきたいと思います。



いま、男女という性別の枠組みだけで、人の多様性を語ることはできない時代となりました。しかし未だに「男だから」「女だから」というしがらみから、私たちは抜け切れていないと感じています。

このフォーラムでは、これまでにさまざまな分野から講師を招き、お話しを伺いました。今年度の落合恵子さんからは性の多様性や、人としてどう生きるのかを学びました。

フォーラムに参加することで、互いに理解し合える社会づくりを考えるきっかけにして欲しいと願っています。

本年12月9日に開催された講演会、落合恵子さんのお話しとても心にしみ渡りました。どこがと言いますと、特に彼女が一女性として生涯「女性の社会的立ち位置」に常に心を置かれて努力され続けていることです。その所を出発点として高齢者の人権、子どもの人権と広げて、こつこつと着実に運動なされていることが凄いと思いました。語り口調は静かですが語っている内容には説得力がありました。落合さんの作品をもう少し読み込んでみたいと思います。

実行委員の思いという点ではこのフォーラムに参加させて頂いて以来、女性の人権、性のマイノリティの方々の苦悩を、少しでも日々汲み取り注視していくように徐々に自己改造ができたように思います。大変微力ではありますが今後も私なりに努力を続けていきたいと勇気を頂きました。ありがとうございました。



毎年このフォーラムに参加させていただき一人では出来ない多くのことを学びました。一人で考えることには限界があります。色々な会に参加して賛同できることばかりでないのが面白いのです。

私は高齢ですし、自分を主張することはあまりしなかったと思いますが、世の中を見る目はひろがったかな？帰る道々その日のことを反芻して一人でほくそ笑んでみたり。楽しいですよ。

何もしないと年をとると認知症になると言われているので何かの予防になるかと参加しています。あなたも参加しませんか。



昨年に引き続き、今年も実行委員を務めさせていただきました。月1回の会議では、フォーラムを映画にするか、講演会にするかから皆が意見を出し合いました。講演会に決定しましたが、講師をどなたにお願いするのかでは、候補が多く、さらに講師のご都合など、決定迄には、多くの意見や時間が必要でした。その討議の中で学ぶことが多かったと思います。

向日市まつりでは、男女意識調査に参加し、アンケートにご協力いただいた方々とお話できる機会となり、フォーラムでは、落合恵子さんの講演に、多数の参加とアンケートがあり、会場が一つになるような経験ができたことを嬉しく思いました。

向日市では市民の目線を大切にしながら、市民・行政共催で男女共同参画の取り組みを進めてきました。月1回の活発な意見交流、向日市まつりでは“男女意識チェックアンケート”を積み重ね、12月の落合恵子さんの講演会を迎える事が出来ました。

落合さんの講演会ではプライベートな課題からグローバルな課題に至る男女差・人権問題の指摘があり、共感・感動する講演でした。おかしいことはおかしいといえる勇気・社会を創っていこう。

2018年、日本では女医問題・セクハラ・性暴力等々、女性にとって驚くべき悲しい問題が起き、まだまだ地道な活動が必要であることを痛感させられました。女性が平等に参加できない社会は弱者や少数派も生きづらい現実だと思います。

向日市は女性活躍センター“あすもあ”の活動が発足し、今後利用内容の充実・女性活動の拠点としての発展・地道な粘り強い活動を願いたいと思います。



実行委員会に参加して何年になるだろう。

役割分担の中で、ちらし作り、司会、講師担当、まとめの冊子作り等ひと通り経験させてもらい、外では何の心配もなく活動できたことを感謝している。

この会は男女平等の啓発が目的で始まり、その為にはしっかり学び、考える力をつけなければならなかった。だから多くの情報をもらいあちこちの講演会や講座などに参加して、それなりに感性が身についたと思う。

世界と比較しても日本の男女平等はまだまだ遠い。だから次世代の人達が学び、この活動を繋いでいってもらいたいと心から願っている。

ほかの実行委員さんとは、少し違う視点で考えてみました・・・

約 148 億年前、大きな爆発があり、広い空き地に色々なものが飛び散りました。それから、その広い空き地の片隅で、お日様の周りを回るかけらが生まれました。

そのかけらは、岩や水や空気で作られていました。やがてそこに緑の葉っぱをつけた生き物が現れました。しばらくすると、その生き物を食べて動く生き物も現れました。そしてまたしばらくすると、その生き物の中から、2つの足で歩く生き物が出てきました。その生き物は、ほかのたくさんの生き物に支えられて大きくなっていきました。



平成30年度 ^{ひと}女と男のいきいきフォーラム実行委員会 ^{ひと}年間の流れ

日程 (原則第3水曜日)		内容
第1回	5月16日	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自己紹介 ・ 男女共同参画施策について ・ フォーラムの企画について
第2回	6月20日	<ul style="list-style-type: none"> ・ 講師、テーマ、講演内容について
第3回	7月18日	<ul style="list-style-type: none"> ・ 講演内容について
第4回	9月19日	<ul style="list-style-type: none"> ・ 講演内容について ・ フォーラム当日の詳細な流れについて ・ 向日市まつりについて
第5回	10月17日	<ul style="list-style-type: none"> ・ 決定事項の確認と検討事項について ・ 向日市まつりでのいきいきフォーラムコーナーについて
第6回	11月7日	<ul style="list-style-type: none"> ・ フォーラム当日の進行、役割分担について ・ パープルリボン啓発について ・ 向日市まつりについて
	11月17日 11月18日	<p>☆向日市まつり（いきいきフォーラムコーナー）</p> <p>アンケートの実施、フォーラムの周知、整理券配布 パープルリボン啓発など</p>
第7回	12月5日	<ul style="list-style-type: none"> ・ フォーラム当日の進行について ・ 向日市まつりでの活動結果について
	12月9日	<p>☆女と男のいきいきフォーラム</p>
第8回	1月16日	<ul style="list-style-type: none"> ・ フォーラム総括、記録集の作成について ・ フォーラムのアンケート集計結果について ・ 向日市まつりでのアンケート集計結果について
第9回	2月20日	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学習会 講演会「働く女性の過去・現在・未来と男女共同参画」 <p>講師 菅原幸子さん（一般財団法人 女性労働協会女性就業支援専門員）</p>
第10回	3月20日	<ul style="list-style-type: none"> ・ フォーラム記録集の内容について ・ 次年度実行委員募集について

男女共同参画社会とは

男女が、社会の対等な構成員として、自らの意思によって社会のあらゆる分野における活動に参画する機会が確保され、もって男女が均等に政治的、経済的、社会的及び文化的利益を享受することができ、かつ、ともに責任を担うべき社会

(男女共同参画社会基本法第2条より)



男女共同参画に係る

キーワード



LGBT

Lesbian (レズビアン) …女性同性愛者

Gay (ゲイ) …男性同性愛者

Bisexual (バイセクシュアル) …両性愛者

Transgender (トランスジェンダー) …生まれたときに法律的・社会的に割り当てられた性別にとらわれない性別のあり方を持つ人(性同一性障がいを含む)

以上の頭文字をとった総称をいいます。

日本では、「性的少数派」や「性的マイノリティ」も同様の意味で用いられることがあります。



SOGI

Sexual Orientation (セクシュアル・オリエンテーション) …性的指向

人の恋愛・性愛がいずれの性別を対象とするかを表すものであり、具体的には、恋愛・性愛の対象が異性に向かう異性愛、同性に向かう同性愛、男女両方に向かう両性愛を指します。

Gender Identity (ジェンダー・アイデンティティ) …性自認

自分の性をどのように認識しているかということです。女性、男性、トランスジェンダーと認識している人やどれにも当てはまらないと認識している人もいます。

以上の頭文字をとった総称をいいます。

日本では、性的指向や性自認にかかわらず多様な性を尊重しようという考え方で用いられることがあります。



エンパワーメント

自らの意識と能力を高め、家庭や地域、職場などあらゆる分野で、政治的、経済的、社会的、文化的に力をつけること、及びそうした力を持った主体的な存在となり、力を発揮し、行動していくことをいいます。



固定的性別役割分担

男女を問わず個人の能力等によって役割の分担を決めることが適当であるにもかかわらず、男性、女性という性別を理由として、役割を固定的に分けることをいいます。「男は仕事・女は家庭」「男性は主要な業務・女性は補助的業務」等は固定的な考え方により、男性・女性の役割を決めている例です。



ジェンダー

「社会的・文化的に形成された性別」のことです。人間には生まれつきの生物学的性別（セックス／sex）があります。一方、社会通念や慣習の中には、社会によって作り上げられた「男性像」、「女性像」があり、このような男性・女性の別を「社会的・文化的に形成された性別」（ジェンダー／gender）といいます。



積極的改善措置（ポジティブ・アクション）

様々な分野において、活動に参画する機会の男女間の格差を改善するため、必要な範囲内において、男女のいずれか一方に対し、活動に参画する機会を積極的に提供するものであり、個々の状況に応じて実施していくものです。

積極的改善措置の例としては、国の審議会等委員への女性の登用のための目標の設定や、女性国家公務員の採用・登用の促進等が実施されています。



ドメスティック・バイオレンス（DV）

夫婦や恋人などの親しいパートナー間で行われる暴力のことで、その多くは男性から女性に振るわれています。殴る、蹴るなどの身体的暴力だけでなく、精神的暴力や性的暴力、経済的暴力なども、DVに含まれます。



パープルリボン運動

1994年にアメリカで始まった女性に対する暴力根絶の運動です。DVや虐待など、個人間にある暴力をなくすことや、暴力の被害にあっている人たちの安全を守り、勇気を与えること、また暴力の問題に関心を持ってもらうことを目的に、一人一人が参加、行動できる運動です。



リプロダクティブ・ヘルス／ライツ（性と生殖に関する健康と権利）

1994年にカイロで開催された国際人口・開発会議において提唱された概念で、今日、女性の人権の重要な一つとして認識されるに至っています。リプロダクティブ・ヘルス／ライツの中心課題には、いつ何人子どもを産むか産まないかを選ぶ自由、安全で満足のいく性生活、安全な妊娠・出産、子どもが健康に生まれ育つことなどが含まれており、また、思春期や更年期における健康上の問題等生涯を通じての性と生殖に関する課題が幅広く議論されています。



ワーク・ライフ・バランス

充実した人生を送るため、自分の価値観に合う働き方、仕事と生活の調和を考えようという概念。あるいは、仕事と私生活とが調和、両立している状態をさします。

ひと ひと
女と男のいきいきフォーラム実行委員会



川阪 宏子
酒井 美智子
高橋 裕
多田 久美子
田中 昭典
佃 れい子
仲島 久美
松田 フジ
松本 須美子
松本 美由紀
吉田 百合子
(50音順)



主催

^{ひと} ^{ひと}
女と男のいきいきフォーラム実行委員会・向日市

編集/^{ひと} ^{ひと}
女と男のいきいきフォーラム実行委員会

発行／向日市ふるさと創生推進部広聴協働課

〒617-8665

京都府向日市寺戸町中野20番地

TEL (075) 931-1111

FAX (075) 922-6587